

薩木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

続 自転車のたび

今回は中山道の奈良井宿から東海道と合流する草津宿までの自転車旅です。

昔の宿場街そのままの奈良井宿を出ると直ぐに鳥居峠、自転車での走行は無理であったので、冬の山道を徒歩での行程。峠道には熊避けの鐘がところどころに設置してあったので都度鐘を大きく鳴らし熊と出会うことのないことを祈るが、遠くでは犬の鳴き声と鉄砲の音、熊かイノシシが出没しているのかなと足早に峠を越え藪原宿へ。

藪原宿は私には必要としない櫛の名産地。

木曾義仲・巴御前伝説とともに福島宿に入り代官と面談となるが寂しい宿場町であった。またもや熊情報で小学校の通りや景勝地である「寝覚めの床」に熊がでたとの情報、これから通る道筋である。きつい坂道の連続であるが休むことなく妻籠宿へ到着、江戸時代を自転車で旅をしている気分となる。

妻籠宿から馬籠宿迄も厳しい峠道、途中の大妻籠はまた違った趣のある街並み、峠の立場茶屋では話し好きのおじさんと1時間ぐらい話し込んでしまう。

恵那山を望む絶景を見ながら馬籠宿に入るが観光化され過ぎに思う。

落合宿の石畳を自転車を押しながら「栗きんとき」が名産の中津川宿、東美濃の中心地である大井宿まで頑張る。

中山道から離れるが三大山城である岩村城に電車で行き見学、岩村の地酒である「女城主」をおいしく飲んでしまう。その後は酔っ払い運転が続いたが自動車が通らない旧街道なので安心。酔いが醒めた頃から十三峠道で水場が無いとの情報なのでペットボトルを購入しスタート。時期は8月、藪蚊が大群で襲いかかり、ここでも熊注意の看板、立ち止まっただの休憩も出来ず3時間以上も自転車を押しての山道でへとへと、最後の「寺坂」という 坂道を転げ落ちるようにして大湫宿に到着。

その後、和泉式部の供養塔、大田宿の脇本陣、犬山城、岐阜城、加納城、輪中、大垣城、美濃国分寺、南宮大社を見学して天下分け目の戦いの関ヶ原に。徳川家康、石田三成の 陣跡と配陣を見る限り三成が勝てた戦いであったと思う。

不破の関所を経て義経の母常盤御前の墓をお参りして近江商人の街滋賀県に入る。

日本武尊が清水で正気にもどったという「居醒の清水」を飲む、元気を取り戻し彦根へ。彦根では三成の居城佐和山城跡に登るが、につつき三成だったのか関ヶ原の戦いの後での取り壊しで城の痕跡が何も無い、残念。

多賀大社、近江八幡の八幡堀、八幡山からの琵琶湖を望み、義経元服地、平家終焉の地を見て草津宿の東海道との合流地点に到達した。

中山道は69次、東山道からの歴史で東海道53次に比べ、古くからの旧跡があり山また山できつい行程であったが味わいのある街道の旅で私の好みに合っていた。

もう一度挑戦するなら中山道です。皆さん、一部でも旅しては如何ですか！

大越

1. 2012年12月の主な活動報告

- ① 11月24日(土) 14名 秋楡伐倒、炭だし、炭材作り、道具手入れ
- ② 12月1日(土) 16名 竹材採取、竹林調査(ZFC 担当範囲確認)
炭材詰め、シラカシ・アラカシ除伐調査
- ③ 12月5日(水) 6名 掲示板修理他
- ④ 12月8日(土) 17名 炭焼(竹炭)、ホタ木用クヌギ伐倒、ヒノキ伐倒
製材、調理台製作他
- ⑤ 12月12日(水) 6名 ホワイトボード修理、小屋用注連縄作り、SF 準備他
- ⑥ 12月15日(土) 20名 杉伐倒、桜林枯れ枝切除、製材
運営会、注連縄作り、忘年会(森の家)

2. 運営会<12月15日>報告

- ① 来年の SF 用作品について内容の確認を行った。1 月から本格的に製作を開始する。
- ② 1 月の水曜活動日は 16 日、23 日、30 日を予定する。
- ③ 大窯での炭焼を 2 月 16・17 日の両日行う。この機会にねらし(製錬)を観る見学会のイベントを企画することになった。
- ④ 来年アラカシ、シラカシ約 35 本を除伐することになった。
- ⑤ 焼却灰は原発事故がらみで廃棄が規制されておりゴミ袋に入れてセンターに持ち込みすることを徹底するよう改めて要請があった。
- ⑥ 新年会を 1 月 19 日(土)に長倉町の焼き肉店で開催する。
- ⑦ ZFC 通信巻頭文の執筆は 1 月大越さん、2 月谷垣さん、3 月宮田さんが担当する。

3. 1 月度主な活動予定

- ① 1 月 5 日(土) 休み
- ② 1 月 12 日(土) 杉伐倒(クヌギ林入口付近)、竹林整備、製材他
- ③ 1 月 16 日(水) SF 準備
- ④ 1 月 19 日(土) 杉伐倒(")、製材、運営会
- ⑤ 1 月 23 日(水) SF 準備
- ⑥ 1 月 26 日(土) ミズキ伐倒、竹林整備他
- ⑦ 1 月 30 日(水) SF 準備

以上